



PHOTO_ 福笑いゲームで制限時間が押し迫り、苦し紛れに鬼王丸のパーツを当てはめ、会場の笑いを誘った参加者

2月5日、広見体育センターで「第2回愛ある鬼嫁コンテスト」が開催されました。

第2回目となる今回は、八幡浜市の岡本千春さん・雅充さん夫妻、松山市の曾根小百合さん・宏昭さん夫妻、松山市の松本絵里さん・誠治さん夫妻、松山市の立石理恵さん・亮さん夫妻、東温市の黒川真美さん・大輔さん夫妻、そして東温市の和田奈津江さん・裕介さん夫妻の6組が出演。今回は前回とは異なり、鬼嫁のみがステージに立ち、愛



今回の出場者6人【写真左上から】岡本千春さん・曾根小百合さん・松本絵里さん【写真左下から】立石理恵さん・黒川真美さん・和田奈津江さん

ある鬼嫁ぶりを競い合い、夫たちはその様子を客席からじっと見守っていました。

コンテストでは、旬の食材を使ったゲームのほかに、愛する夫の目、鼻や口などを当てる福笑いゲームを実施。全17人のパーツが並び、鬼嫁たちは悪戦苦闘していました。

また、鬼嫁エピソードを紹介するコーナーでは、明石家さんまさんのものまねでおなじみの「ほいけんた」さんが登場。鬼嫁たちと軽快なトークを繰り広げ、会場を盛り上げていました。

コンテストの最後には、夫も舞台上へ。鬼嫁から夫へ愛のメッセージが伝えられ、会場は温かな空気に包まれました。

熱戦を勝ち抜き、和田奈津江さん・裕介さん夫妻（東温市）がグランプリに、立石理恵さん・亮さん夫妻（松山市）が準グランプリの栄冠を手に入れました。

なお、このコンテストの模様は、3月4日10時から南海放送で放映されます。